

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	町営バス運行事業				決算書頁	94-95
					担当課	企画財政課
歳出費目	款 総務費	項 総務管理費	目 地域交通対策費		作成責任者	課長 小池 大介
総合計画	分野名	(分野6)美しく住みやすい安心安全なまち		分野名		
	施策名	(施策4)誰もが住みやすいと感じられる生活環境の構築		施策名		
根拠法令等	道路運送法 与謝野町営バス運行事業に関する条例 与謝野町営バス運行事業に関する条例施行規則			関連計画等	第2期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略	

2. 事業の目的

事業目的	路線バス(幹線)から離れた地域に居住している住民の日常生活に必要な交通手段を確保する
------	--

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標(アウトカム)	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
実績/当初目標	乗車人員(3路線合計)	人	3,868/5,000	3,718/5,000	**/5,000	**/5,000	5,000(R8)
	交通不便地区(0地区の維持)	地区	0/0	0/0	**/0	**/0	0(R8)
	指標で表せない成果・効果						

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較	
総事業費	10,435	11,125	690	一般財源	9,598	9,415	▲ 183	
事業費	8,686	8,722	36	国府支出金			0	
職員人件費	1,749	2,403	654	地方債			0	
参考	正職員数(人)	0.24	0.31	0.07	その他特定財源	837	1,710	873
	会計年度任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00				

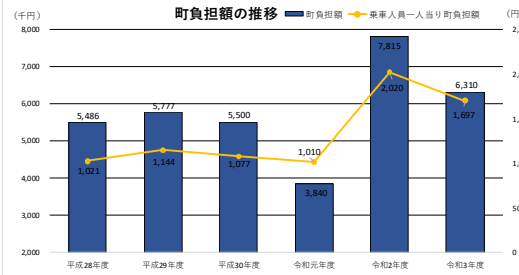
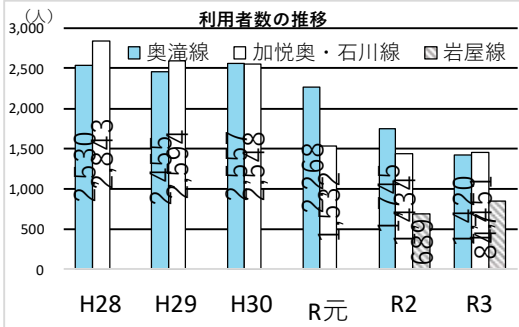
注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	町営バス運行事業	類型	一般型	細事業事業費(千円)	8,722	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他 ()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	①町営バス(3路線)の運行を実施(委託料)・・・7,722千円					
	②乗合タクシーの実証運行を実施(委託料)・・・1,000千円					
①町営バス運行						
道路運送法第4条に基づく一般旅客自動車運送事業の許可を得た丹後海陸交通株式会社へ運行業務を委託し、定時定路線の一般乗合旅客輸送サービスとして移動手段を確保した。						
No.	路線名	路線延長(km)	運行便数/日	運行日数(日)	運行便数(便)	利用者数(人)
						大人 小人 小学生未満 身障 平均/日 平均/便
1	奥滝線	23.1	月・水・金曜日4便	144	573	1,420 1,370 3 0 47 9.86 2.48
2	岩屋線	5.5	月・水・金曜日4便		573	847 569 3 35 240 5.88 1.48
3	加悦奥・石川線	31.1	火・木・土曜日4便	149	596	1,451 1,205 1 0 245 9.74 2.43
合計				293	1,742	3,718 3,144 7 35 532 12.69 2.13
【運賃】 大人200円、小児100円、幼児無料 ※障害者割引あり						
【回数乗車券】 200円券11枚綴り2,000円						





②乗合タクシー実証運行

AIオンデマンド交通サービスの実証事業を、令和4年2月3日(木)から3月4日(金)までの30日間、野田川地域全域と加悦地域の一部(加悦谷ショッピングプラザ周辺)で実施(運行時間:朝8:00~夜21:00、運賃:無料)

配車回数461回 / 乗車人数(累計) 553人 / 利用人数77名

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価		左記の具体的説明							
<table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td>○</td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。		前年度の水準を下回った。	○	<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <p>交通不便地区住民の日常生活に必要な交通手段を確保するため、高齢者や運転免許を保有されない方の屋間の買い物・通院を主な目的とした運行サービスを提供し、利用者からも一定評価を頂いているが、新型コロナウイルス感染症の影響や沿線人口の減少等により利用者が減少し、一人当たりコストが増加する結果となった。丹海バスの路線バスや社会福祉協議会の福祉有償運送、タクシーとの棲み分けも勘案し、町営バスとして物理的な限界の中で取り得る最大の方法により事業実施できたと考えている。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。									
前年度の水準を下回った。	○								
事業の課題	利用者減少により効率性が悪化しているが、一方で満足度の向上、人口減少・少子高齢化社会に合った利便性の高い移動手段が求められている。	令和4年度以降における課題解決に向けた方向性							
		需要に応じた利便性の高い移動手段としてデマンド交通「予約型乗合タクシー」を選択肢の一つとして地域交通体系の再構築を目指す。							

令和3年度事務事業評価 細事業別担当課による自己評価及び今後の方向性 (二次評価対象事業のみ作成)

細事業1 町営バス運行事業		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	交通不便地区住民の日常生活に必要な交通手段を確保することは必須。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	輸送の安全確保を第一とすることから、法に基づく民間事業者(緑ナンバー)に委託して運送サービス提供は適切
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	交通事業者による乗合バス運行は交通不便地区住民の日常生活に必要な交通手段を確保する達成手段として適切であり、優先度も高い。
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	丹後海陸交通(株)は国公表のキロ当たり標準経常費用(北近畿)より安価な単価で経営されており妥当と考えているが、利用者の減少により一人当たりのコストが上昇しており対応が必要。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	運賃についても丹海200円バスと同様に利用しやすい200円。路線・ダイヤも需要に応じた設定としている。定時定路線型ではないデマンド交通「予約型乗合タクシー」について導入を模索中
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	町営バスとしてはこれ以上の手立ては困難。定時定路線型ではないデマンド交通「予約型乗合タクシー」について導入を模索中
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	路線ごとの利用実績(月次)、バスに乗り込んだ利用者のアンケートにより実態やニーズを把握。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	活動実績は計画通りであったが、新型コロナウイルス感染症の影響や沿線人口の減少等により利用者が減少したことにより一人当たりコストが増加傾向にある。
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	予約型乗合タクシーの実証運行を行い導入の可能性を模索した。
	目的及び指標等の達成状況に対する評価及び課題		<p>交通不便地区住民の日常生活に必要な交通手段を確保するため、高齢者や自動車運転免許を保有されない方の屋間の買い物・通院を主目的に設定した運行サービスを提供しており、利用者からも一定評価をいただいている。</p> <p>多方面への運行や運行曜日・便数・ダイヤについて個々に要望もあり、令和2年10月1日に町営バスを再編することで幅広いニーズに対応を出来るようにしたが、すべてのニーズに町営バスで応えることは不可能であり、丹海バスの路線バスや社会福祉協議会の福祉有償運送、タクシーとの棲み分けも勘案し、町営バスとして物理的な限界の中で取り得る最大の方法により事業実施してきた。</p> <p>しかし、利用者の減少により効率性が悪化しているが、一方で満足度の向上、人口減少・少子高齢化社会に合った利便性の高い移動手段が求められていることから「予約型乗合タクシー」の実証運行を行ったところ、多くの方から評価をいただいたことから本格運行へ向けた調整を行う必要がある。</p>	
令和4年度以降の方向性	方針区分	内 容		
	B	需要に応じた利便性の高い移動手段としてデマンド交通「予約型乗合タクシー」を選択肢の一つとして地域交通体系の再構築を目指す。		
二次評価 【行革担当課記入】	方針区分	所 見		
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 【担当課記入】	方針区分	内 容		

方針区分 A: 次年度に廃止/休止 AA: 5年以内に廃止/休止 B: 他事業と統合し組替 C: 予算削減を伴う見直し
D: 予算増減のない見直し E: 予算拡充を伴う見直し F: 事業の見直しなし

★必要性

①「町民ニーズや社会のニーズを的確にとらえた事業か」

⇒事務事業の成り立ち(スタート)がどういったニーズによるものだったか、そこからニーズの変遷に対応出来ているのか、変わる可能性のある将来のニーズにどう対応する事務事業なのか等を念頭に評価してください。

【評価の考え方の例】

- ・現在の社会情勢や与謝野町の現状を的確に把握し、将来においても十分に役割を果たすものならば○。
- ・現在の社会情勢や与謝野町の現状を把握し、現状や将来において概ね役割を果たすものであれば△。
- ・現在は対象者も少なくなる等、役割に一定の整理が必要な段階にあれば×

②「民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か」

⇒行政が担うべき事業であるのか、税を投入して行うべき事業なのか等、行政が関わる妥当性という視点で評価をしてください。

【評価の考え方の例】

- ・法令はもちろん、他の例と照らし合わせても、行政が主として担い税を投入することが明らかな事務事業であり、民間等では代わることができないのであれば○。
- ・現在は民間等と共同し税を投入して行っているが、将来的には税の投入を見直し、民間等が担う(行政の関わりをなくすor 減らす)ようにする事務事業なら△。
- ・本来は民間等が担うべきであるが、本事務事業があるがために、行政に依存的(実施や費用)になっているなら×

③「目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か」

⇒他の事務事業によって、その事務事業の目的・目標が十分達成できるのではないかなど、この事務事業が目的・目標の達成のために適切で最善なものなのかを評価してください。

【評価の考え方の例】

- ・目的、目標の達成手段として適切で、最優先される事務事業なら○。
- ・目的、目標の達成手段として適切で、最優先とは言えないが重要な要素の一つであれば△。
- ・目的、目標が他の事務事業で達成でき、優先度が低いならば×

★効率性

①「受益者との負担関係や単位あたりのコストは妥当な水準か」

⇒事務事業にかかるコスト(インプット)が妥当なものなのか、成果と照らし合わせて分析し評価してください。

【評価の考え方の例】

- ・成果と照らし合わせて、事務事業にかかるコストが妥当なものであれば○。
 - ・成果と照らし合わせて、事務事業にかかるコストについて、やや妥当性に欠けると考えられる場合は△。
 - ・成果と照らし合わせて、事務事業にかかるコストが妥当でないと考えられる場合は×
- ※妥当・・・行政が負担する根拠が明確で過大となっていない状態。
※その事務事業においてコストに関する検討の必要がないと考える場合は、評価せずに説明欄にその理由をご記入ください。

②「他の手段や方法とのコスト比較は十分に行われているか」

⇒本事務事業の成り立ちや実施において、その手法が他の手法とのコスト比較等がなされた上で(また、常になされて)採用されたものか評価してください。

【評価の考え方の例】

- ・比較検討を十分に行い採用された手段・方法であれば○。
 - ・比較検討を行ったが、事情により最善の手法が選択できていなければ(それでも妥当な手段・方法は選択できている)△。
 - ・他の手段・方法によってコストの抑制に繋がる可能性があるが、比較検討は行われておらず、現状が最善かどうかも検討されていないならば×
- ※その事務事業において他の手段・方法とのコスト比較検討を行う必要がないと考える場合は、評価せずに説明欄にその理由をご記入ください。

③「コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか」

⇒事務事業を進める中で、コストの削減・抑制や、現状に即して省力化・簡素化等の効率的な事務手法がとられているか評価してください。

【評価の考え方の例】

- ・コストや手法において、常に検討し効率化に向けた工夫を行っていれば○。
 - ・コストや手法において、常に効率化に向けた検討(実行には至っていない)を行っていれば△。
 - ・コストや手法において、効率化に向けた検討ができていなければ×
- ※その事務事業において効率化に向けた検討を行う必要がないと考える場合は、評価せずに説明欄にその理由をご記入ください。

★有効性

①「成果指標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか」

⇒本事務事業の成果指標(アウトカム)が、事業目的の実現に直接的で、なおかつ実現可能なものであるか、また、その指標が調査や統計データの活用等により適切に把握・測定されたものなのかという視点で評価してください。

【評価の考え方の例】

- ・成果指標が適切に把握・測定されたもので、事業目的の実現のために十分な役割を果たしていれば○。
- ・成果指標がある程度妥当な考え方で設定され、事業目的の実現のための一つの要素として一定の役割を果たすものであれば△。
- ・成果指標の把握・測定が特に行われておらず、事業目的の実現のための要素としても明確でなく不十分であれば×

②「活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか」

⇒活動実績(アウトプット)が設定した見込みどおり進捗しているか、効率性とも関連して事業実施に投入した資源(人員・コスト)に見合う成果になっているかを評価してください。総合計画などの上位計画に対する貢献度も考慮してください。

【評価の考え方の例】

- ・設定した活動実績が、順調に進捗しており、投入資源(人員、予算)に見合う効果があれば○。
- ・設定した活動実績が、今後進捗していく見込みであり、投入資源(人員、予算)に見合う効果が期待できる状況なら△。
- ・設定した活動実績が、思うように進捗しておらず、投入資源(人員、予算)に見合う効果が得られるか不明なら×

③「先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか」

⇒他の自治体等で実施され成果をあげている先行事例の分析や、外部資源(外部の専門的知識を有する人材や、民間資金など)の活用の有無について評価してください。

【評価の考え方の例】

- ・先行事例の分析や外部資源の活用で成果をあげていれば(あげる見込みであれば)○。
 - ・先行事例の分析や外部資源の活用を検討しており、今後、成果が期待できる状況なら△。
 - ・先行事例の分析や、外部資源の活用の可能性があるが、検討に至っていないならば×
- ※その事務事業において先行事例の分析や外部資源の活用の検討を行う必要がないと考える場合は、評価せずに説明欄にその理由をご記入ください。

令和3年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事務事業名		町営バス運行事業 (コード) 201160201			担当課	企画財政課	作成責任者	本田 智宏	
事業属性	歳出費目	款 総務費	項 総務管理費	目 地域交通対策費	事業	町営バス運行事業		R2新規	-
	分野名	(分野6)美しくて住みやすい安心安全なまち			分野名				
	施策名	(施策4)誰もが住みやすいと感じられる生活環境の構築			施策名				
	開始年度	H20(2008)	終了予定年度		関連計画等	生活交通確保維持改善計画【地域内フィーダー系統確保維持計画】			
	根拠法令等	与謝野町営バス運行事業に関する条例、与謝野町営バス運行事業に関する条例施行規則							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他()					類型	一般型		
事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	丹後海陸交通が運行する路線バス(幹線)は岩滝地域を中心に宮津市、伊根町を阿蘇海沿いに結ぶ系統と、岩滝地域、野田川地域、加悦地域と町域のほぼ中心を縦断する系統となっている。幹線から離れた地域においては、自家用自動車を中心とした移動にならざるを得ないものの、人口減少、高齢化が進行しており、買い物、通院等の生活に必要な交通手段の確保が求められている。これらの幹線から離れた地域に居								
対象	交通不便地域住民	対象数	1,855 (単位) 人	単位当りコスト	5.625				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他()								
事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	道路運送法第4条に基づく一般旅客自動車運送事業の許可を得た事業者による定時定路線の一般乗合旅客輸送サービスが町が運営主体となって提供する。(町所有のノンステップバス車両を使用していたが、令和2年度の更新で廃車) 運行系統は、奥滝線(鹿ノ熊～野田川庁舎)と加悦奥・石川線(加悦奥十番組～加悦庁舎)の2路線、奥滝線は月・水・金曜日、加悦奥・石川線は火・木・土曜日運行とし、平成31年に奥滝線火・金曜日、加悦奥・石川線水・土曜日の週2運行に変更したが、令和2年10月1日から幹線の再編と併せて岩屋線(岩屋上～ウイル)の1路線を新設し、運行日も元の運行日に変更し、車両の更新(小型化)も併せて行った。全路線午前・午後それぞれ1往復の運行ダイヤ。おとな200円、こども(小学生)100円、幼児無料とし、障害のある方等は半額とし変更なし。 なお、地域公共交通確保維持改善事業費補助金の地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金(補助対象経常費用と経								
取組実績と経費内訳 (R2実績)	R2取組実績		経費科目(節・細節)			R2決算(千円)			
	令和2年10月1日からの路線再編準備		需用費・消耗品費			34			
	上記の日程から新たな路線で運行ができるよう再編準備を丹後海陸交通株式会社へ業務委託(マグネットシート購入、廃車手数料等を含む)		役員費・その他手数料			34			
	町営バス運行委託料(再編前:～R2.9.30まで)		委託料・町営バス運行委託料			2,509			
2路線(奥滝線、加悦奥・石川線)の週2日運行の業務を丹海バスへ委託		委託料・町営バス運行委託料			5,239				
町営バス運行委託料(再編後:～R3.3.31まで)		委託料・町営バス運行委託料							
3路線(岩屋線、奥滝線、加悦奥・石川線)の週3日運行の業務を丹海バスへ委託									
執行の状況	区分			R1	R1繰越	R2	R3	R4	R5
	事業費①	財源内訳	一般財源	4,484	0	8,686	10,426	10,426	10,426
			国支出金	3,839		7,849			
			府支出金						
			地方債						
			その他特定財源	645		837			
		特定財源名称	町営バス運行収入			623	使用料		
		町営バス回数券販売上			214	使用料			
	職員人件費	従事職員数(正職/正職以外)	0.3/0		0.24/0	/	/	/	
		概算人件費②	2,246		1,749				
総事業費(①+②)③		6,730		10,435	10,426	10,426	10,426		
			総事業費(R3～R5) 31,278						
事業費のうごき	事業費①の前年度増減率			94%		20%	0%	0%	
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)			再編に合わせた準備業務の発生、再編後の増便に係る経費の増加によるもの					
業績指標	事業目的達成のための成果指標(アウトカム)実績/当初目標		指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
			乗車人員(3路線合計)	人	3800/5105	3855/5000	/5000	/5000	5000
			交通不便地区	地区	0/0	0/0	/0	/0	0
			指標で表せない成果・効果						
			指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
			町営バス運行便数(岩屋線)	便	0/0	296 / 296	/568	/568	568
			単位あたりコスト③/実績			35.3			
			町営バス運行便数(奥滝線)	便	392/392	492 / 492	/568	/568	568
			単位あたりコスト③/実績			21.2			
			町営バス運行便数(加悦奥・石川線)	便	400/400	492 / 492	/600	/600	600
		単位あたりコスト③/実績			21.2				

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項目		評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性		
	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	交通不便地区住民の日常生活に必要な交通手段を確保することは必須。
	民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	輸送の安全確保を第一とすることから、法に基づく民間事業者(緑ナンバー)に委託して運送サービス提供は適切
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	交通事業者による乗合バス運行は交通不便地区住民の日常生活に必要な交通手段を確保する達成手段として適切であり、優先度も高い。
	効率性		
	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	丹後海陸交通(株)は国公表のキロ当たり標準経常費用(北近畿)より安価な単価で経営されており、妥当
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	運賃についても丹海200円バスと同様に利用しやすい200円。路線・ダイヤも需要に応じた設定としている。予約型乗合交通、車両の小型化については費用は大きく変わらない。
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	×	新規路線を新設し、運行日を週2日から週3日に増便したためコスト削減に繋がらなかった。地域の移動手段として現在の体制で現在以上の減少は難しく感じている。
	有効性		
成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	路線ごとの利用実績(月次)、バスに乗り込んだの利用者アンケートにより実態やニーズを把握。	
活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	活動実績は災害もなく天候にも恵まれて見込みに沿っているが、1人当たりのコストでは増加傾向にある。	
先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	全国の先行事例を分析しており、鉄道などの他の公共交通機関と連携しており活用は十分。	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	交通不便地区住民の日常生活に必要な交通手段を確保するため、高齢者や自動車運転免許をお持ちでない方の屋間の買い物・通院を主目的に設定した運行サービスを提供しており、利用者からも一定評価をいただいている。 多方面への運行や運行曜日・便数・ダイヤについて個々に要望もあり、令和2年10月1日に町営バスを再編することで幅広いニーズに対応出来るようにしたが、すべてのニーズに町営バスで応えることは不可能であり、丹海バスの路線バスや社会福祉協議会の福祉有償運送、タクシーとの棲み分けも勘案し、町営バスとして物理的な限界の中で取り得る最大の方法により事業実施できているものと考えている。		
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	コスト面では国庫補助金を活用しているものの年間約1,000万円の一般財源を投入している。利用者数で割り戻した一人当たりの実コストが昨年の2,417円から5,625円と大幅に増加しており、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により利用者も想定より伸び悩んで令和2年10月から丹後海陸交通が運行する路線バス(病院線)の再編にあわせ、岩屋地区における町営バスの運行をスタートさせ、且つ事業者の経営努力もあり週2日運行から3日運行へサービス改善することができた。しかしながら、今後求められる移動サービスは町営バスの存廃も含め、新たな移動手段を研究する必要がある。		
庁内及び外部による評価	所見		
	二次評価(庁内)【行革担当課記入】	<input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
来年度方針	所見		
	二次評価(外部)【行革担当課記入】	<input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分		内容
	<input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況		担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		